

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



【向日葵】

写真提供：櫻井龍太君

会長：青島 彰 副会長：仲田 廣志 幹事：大塚 博巳 副幹事：池ノ谷 敏正

第1914回

- ソング 奉仕の理想
- ソングリーダー 河井 宏文君



【2011-2012年度 RIテーマ】

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

カルヤン・パネルジー

会長報告

青島 彰君

8月10日に清水港湾内クルージング納涼例会が行われました。日中の熱気を含んだ潮風のなかではありましたが快適で楽しい例会であったと思います。参加された皆さんはいかがでしたでしょうか。

本日は石垣地区ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会となります。テーマは「楽しいクラブライフとは」です。8月12日にカルヤン・パネルジーRI会長よりビデオメッセージが会長宛に配信されました。RI会長は世界的な会員減少はロータリークラブの存亡に係わる重大な問題であると危機感を持ったメッセージでした。RI会長は新会員を惹きつけ、現会員の維持について次のような提案をしています。

- ・ 地域特有の機械や架台を把握する。
- ・ 若い世代や女性など、多様性のとんだ会員を勧誘し、クラブにおける職業分野の拡大を図る。
- ・ 会員維持活動を改善する。
- ・ より魅力的で柔軟性のあるクラブ作りを実行する。

日本における会員減少率は世界でも一番とのこと。当クラブの会員数は平成20年の35名から今期43名と会員の努力の結果、会員数は8名の純増となっています。しかしながら今後の増強・維持については相当な努力が必要になると思われ。会員全員が共有する問題として捉え、本年度目標の10%会員増強に少しでも近づける努力をお願いします。

クラブ協議会は村松クラブ研修リーダーに進行をお願いしました。テーブル毎にサブリーダーがおりますので活発な議論をしていただきたいと思えます。また、会員満足度アンケートを実施します。クラブ運営改善の基礎資料となりますので率直な意見を聞かせていただければと思います。

なお、クラブ協議会に先立ちガバナー補佐との会長幹事会が行われました。本年度事業計画について指摘された事項があります。まず委員会組織をロータリークラブ推奨に基づいたものとする。事業計画書のなかで理事・役員の配置が明確でないこと。SAAはクラブ管理運営委員長の兼任は好ましくない。あくまでも理事職である。以上指摘された事項については仲田副会長との協議により改善を考えています。

幹事報告

大塚 博巳君

- 国際ロータリー日本事務局より2011年9月のロータリーレートのお知らせが届いております。1\$ = 78円です。
- ザ・ロータリアン誌が届いております。

出席報告

小西 啓一君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
36 / 44 81.82%	32 / 43 74.42%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

石間君 江崎晴君 後藤君 酒井君
畑君 鈴木舜君 仲田晃君 水野君

(2)メイクアップ者

江崎 晴城君(焼津南) 石間 尚雄君(焼津南)

スマイルBOX

小西 啓一君

- 石垣ガバナー補佐、成瀬事務局次長、暑い中をようこそおいでくださいました。昨年、私も汗をかきながら訪問させていただいたことを思い出します。本日のクラブ協議会では宜しくご指導をお願いいたします。 青島 克郎君

- 石垣ガバナー補佐、成瀬事務局次長の当クラブ訪問を心より歓迎いたします。 青島 彰君
- 2番目の孫娘が、東大付属病院泌尿器科外科医となり勤務しました。 江崎 友次郎君

スマイル累計金額 90,000円

■ガバナー補佐訪問

静岡第5分区

ガバナー補佐

石垣 徳夫君



クラブ協議会

本日のクラブ協議会は、各テーブルにおいて「会員満足度アンケート」「楽しめる例会についてのアンケート」を行い、例会をより楽しむ為にはどのようにしたらいいのかを協議致しました。アンケートの結果は、集計がまとまり次第発表致します。



インターアクト年次大会報告 大塚高弘君

国際ロータリー2620地区

2011～2012年度インターアクト第38回年次大会

日時：平成23年7月30日(土)～31日(日)

会場：日本大学三島高等学校新校舎6階

ホストIAC：日本大学三島高等学校IAC

ホストRC：三島ロータリークラブ

運営協力：三島高等学校IAC

出席者：藤枝順心高校 5名、

藤枝ロータリー1名の計6名

(藤枝順心高校：3年望月麻衣、堀田千晶、2年大塚優喜、1年山本美優、顧問佐野先生、)

(藤枝ロータリー：大塚高弘)

大会内容

1日目 7月30日(土)

12:10より開会式が始まり、13:00から14:30まで全大会

全大会1部ではRC第2620地区 青少年交換委員会からの報告があり、これから海外へ出発する交換留学生の抱負を発表し、帰国した交換留学生の1年間の成果と体験を写真や記念品などを見せて発表しました。

2部は、基調講演 講師：日本大学国際関係学部 特任教授 北岡和義先生による、「信と愛・震災を超える底力 ～激しく生きる若者たちへ～」の演題で、元海外ジャーナリストの経験を持つ北岡先生は、今の日本の若者たちと海外の若者たちを比べ、日本の若者たちへ目標を持ち、ハングリーに挑戦してもらいたいと熱く講演しました。

14:45からは今できるボランティアとして、第2620地区のロータリーアクトの方々が、インターアクトを経験している今の生徒たちへ、今後も続けて頂きたいとメッセージとロータリーアクトの活動

内容の紹介を行いました。また、この時間の中で事前に献血協力の希望をしている生徒は献血を行いました。

16:30からは意見交換会・分科会を行い、6つの班に分かれて各学校IACメンバー、ローターアクトにより、現在の活動内容や抱えている問題点と対策、さらに震災後の活動と今自分達に出来る事は何かを報告し、話し合いました。特に各学校とも、部員数の減少が最も多い問題点でした。また、学校によっては学校の生徒会や委員会としてIACがあったり、他の部活と兼部を認めていたりと登録している部員数は多いが実際に参加して活動する生徒は極端に少なく活動にならない。各IACでの対策としては楽しい活動をしたいと提唱RCとの合同（納涼、クリスマス例会）で行っていたり、3年に一度の海外研修が魅力になって、楽しみにしている。など意見がでました。

夕食は日本大学国際関係学部の学食で、全員一緒に食べました。

宿泊場所にチェックイン後にロータリアンと各学校の顧問の先生、ローターアクトのメンバーで軽く懇親会を行いました。

2日目 7月31日(日)

朝早くから「災害発生時のアミューズメントパークの対応を学ぶ」と銘打ちまして、富士サファリーパークの見学を行いました。その後は学校へ帰着し、昼食をとり13:00より閉会式を行いました。連絡事項は、年次大会・指導者講習会の開催校のローテーションについて、次回の年次大会は焼津中央 常葉高校に変更しました。また、今後も高校の廃校や、廃部もあり2008年の開催表は大きく変更が生じます。

2日間に渡り、順心高校の皆さんお疲れさまでした。楽しく有意義な時間を体験出来たと思います。また、個人的には他のロータリアンとインターアクトについていろいろな話を聞けて有難う御座いました。特に焼津南RCの増田様、小野田様、静岡西RCの鈴木様にはお世話になりました。

以上年次大会の報告と致します。